玖島魂

故郷ひらき 世をひらく

学校HP

大村市立玖島中学校
学校だより　第14号
R6．7．19発行
文責：校長　大場祥一

『令和6年の夏始まる！しっかりと前を向く！』
～地域で玖島の風を！夢や目標に向けて前進する夏へ！～

明日から38日間の夏休みが始まります。１年生は７回目、２年生は８回目、３年生は９回目の夏休みです。学年こそ違いますが、それぞれが夏休みのプロとして、棒に振るようなことがあってはなりません。一人一人の充実した夏の過ごし方に期待を込めて、１学期を振り返りながら終業式で次のような話をしました。ご家庭でも話題としてお話しいただき、家庭や地域での後押しをお願いします。

★　「１学期」

○５月の「体育大会」＝大成功（尻上がりの仕上がり、見事なものだった。）
堂々の入場行進、競技やダンス、長縄跳びなど、手を抜かない全力の姿が輝いていた。
少ない練習時間で、先生方と一丸となって玖島中の力は本物だと確信した。誇りある体育大会となった。
○中総体、昨日の選手激励会のとおりである。５つの団体競技での優勝、多数の個人競技で栄冠
85名にものぼる選手団を県大会へ送り出す。市内で５番目の規模の玖島中だが、その結果はトップレベル

★　「１年生」

○真の玖島中生になれたか？入学式では、「守・破・離」という言葉を贈った。
※小さな子供：親や教師など大人から受けた教えを「守り」⇒殻を「破り」、自ら気づき・考え・行動する。⇒親や教師から「離れ」、社会の中で自立し、自分の力で生きていく。
○小学校や中学校における学びが、そのことに当てはまる。
※「玖島中学校」という青春のステージで、自分を伸ばし、生き生きと活躍していくことを期待している。
※夏が終われば、中学校３年間の約６分の１が終わることとなる。
○中学最初の夏休み、未来を切り拓くための「智恵」、「我慢」、「辛抱」、「逃げない心」自らを鍛える覚悟をもて。

★　「２年生」

○２年生、中堅学年としての自覚が高まってきているか。
※「玖島中学校」という青春のステージ
※夏が終われば、中学校３年間の約半分を終えたこととなる。
○学校は学ぶところ⇒学び続けてこそ、人はその可能性や希望が生まれてくる。
※授業や係活動、友達に正しく向き合えない人⇒大人になっても楽ばかりを考える人となっているかもしれない。
※人からも信用もされず、相手にされなくなる。
※夏が終わり、１０月となれば、中学校生活の半分が過ぎ、卒業という節目へのカウントダウンが始まる。
○１日１日の日々や、１つ１つのものごとを大切にする覚悟をもて。

★　「３年生」

○体育大会や中総体、生徒会活動と、最上級生としての自覚、人間的な成長、見違えるほどの進化である。
※本校のリーダーだ。ありがとう。夏明けも学校の顔として先陣を切ることとなる。
⇒一人一人のさらなる自覚に期待する。
○今年の夏は、今までとは違う夏となる。
※屋外掲示板にR4「夏を制する者は受験を制す」R5「天王山」R6「前進と後退」を贈った。
※先日話しているとおり、「現状維持は、後退」
⇒しっかりと前を向く。あなたの夏、始まる。短い言葉の裏にある大切なこと、行間を読み取れ。
○目標なくして努力なし。三者面談も始まる。「前進」することを一日一日充実したものにする覚悟をもて。

★　「夏のキーワード」

○「いのち」……避難訓練でも話したが、「自分事」として「いのちを守る行動」をとる。
・自然災害、交通事故、水の事故、不審者、熱中症アラート、様々な誘惑から「いのち」を守る。
※備えや心構え、危険を回避する力を発揮する。
○笑顔あふれる学校を目指している。
・残念ながら、嫌がらせやからかい等、「いじめ」に発展しそうなことが起こっている。
※「いじめ」はいかなる理由があっても絶対に許さない。「冗談のつもりだった。」はありえない。
※メディアとの向き合い方の指導もあっているはずだ。
⇒夏休み中も、部活やＬＩＮＥ等での「嫌がらせやからかい、いじめ等」は厳禁だ。
○生徒会代表の荒木さんの言葉に「２学期は、あいさつが飛び交う学校」を目指したいという言葉がある。
○１日10回の気持ちのよいあいさつの実践⇒全校で4,510回⇒38日間では、171,380回。
※家庭や地域で、気持ちの良いあいさつが交わされる。
※必ず学校、地域が変わる。玖島の風を地域に吹かせよう。
○この夏「前進するか」、「後退するか」あなたの夏が始まる。